

2015年12月17日

各位

大阪大学大学院医学系研究科長・医学部長  
澤 芳樹

## 第1回大阪大学健康・医療クロスイノベーション会議のご案内

拝啓 立冬の候、貴社いっそうご隆昌のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

皆様ご高尚のとおり、関西地域は昨年5月健康・医療分野における国家戦略特区に指定され、日本の成長エンジンとして健康・医療分野における重層的なイノベーション創発への取組が期待されております。

また、産業界の関心が急速に高まってきている再生医療分野においては、昨年末、世界に先駆けて整備された新たな法律の下、本年9月には当学で研究を進めてきた再生医療製品が第一号の製品認可を得る等、当該分野での先駆的役割を果たしてきているところであります。

こうした中、6月に改訂された日本再興戦略においては、国家戦略特区内の臨床研究中核病院において、医療機器開発を迅速化するべきとの閣議決定がなされ、本年8月には、大阪大学附属病院が臨床研究中核病院として厚生労働大臣の認可を取得し、学内に留まらない、日本全体の臨床研究推進への中核的役割を期待されるとともに、我が国唯一の特区内拠点大学病院として、医療機器開発迅速化への貢献が期待されているところであります。

さらには11月、スポーツ庁のプログラム「スポーツイノベーション拠点形成プロジェクト」に採択され、スポーツサイエンスの革新、東京オリンピック・パラリンピックにおけるトップアスリートの競技力向上等に取り組んでいく事となっております。

一方、2013年から準備が進められてきた、我が国初となる大学ベンチャーファンド(1号ファンド、約120億円)が、ライフ分野を柱の一つとして本年8月に運営を開始する等、医療・健康分野における先進的研究からその事業化に至る一貫した取組が求められているところであります。

このため、先駆的に進めてきた国際的な開発人材の育成(ファーマトレイン、バイオデザイン等)や、未来医療開発部(附属病院)、最先端医療イノベーションセンター(医学系研究科)での取り組みに加え、8月には「ベンチャー設立・運営支援室」を設立し、また、特許庁の協力を得て「M/H 知財戦略室」の設立準備を進めるとともに、「大阪大学医学系研究科・医学部附属病院 産学連携・クロスイノベーションイニシアティブ」を設置し、先進企業との連携(パートナーシップ)を一層深化させ、相互の発展と、組織、分野を越えたクロスイノベーションの実現、研究成果の国際的な事業化の加速等を通じた、健康・医療の革新に取り組んでいきたいと考え、このたび、「第1回大阪大学健康・医療クロスイノベーション会議」を開催させて頂くことといたしました。

貴社におかれましては、ご多用中のところまことに恐れ入りますが、万障お繰り合わせのうえご出席いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具